

2023年3月期 決算概要

2023年5月19日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)

2023年3月期 決算ハイライト

全地域で増収、上場来最高売上を更新するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前期比108.7%、34億円増の427億円と上場来最高を更新。
	日本	前期比100.6%の141億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前期比111.9%の234億円。 自動車関連で堅調を維持。
	東南アジア	前期比113.0%の19億円。 シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前期比124.1%の32億円。 医療・飲料関連が好調を維持。
利益		営業利益は、前期比80.1%の2,436百万円 経常利益は、前期比79.6%の2,394百万円 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比68.1%の1,390百万円
ネット資金		当期純利益の計上等により、期首から1,219百万円増加。



損益計算書サマリー

(単位:百万円)

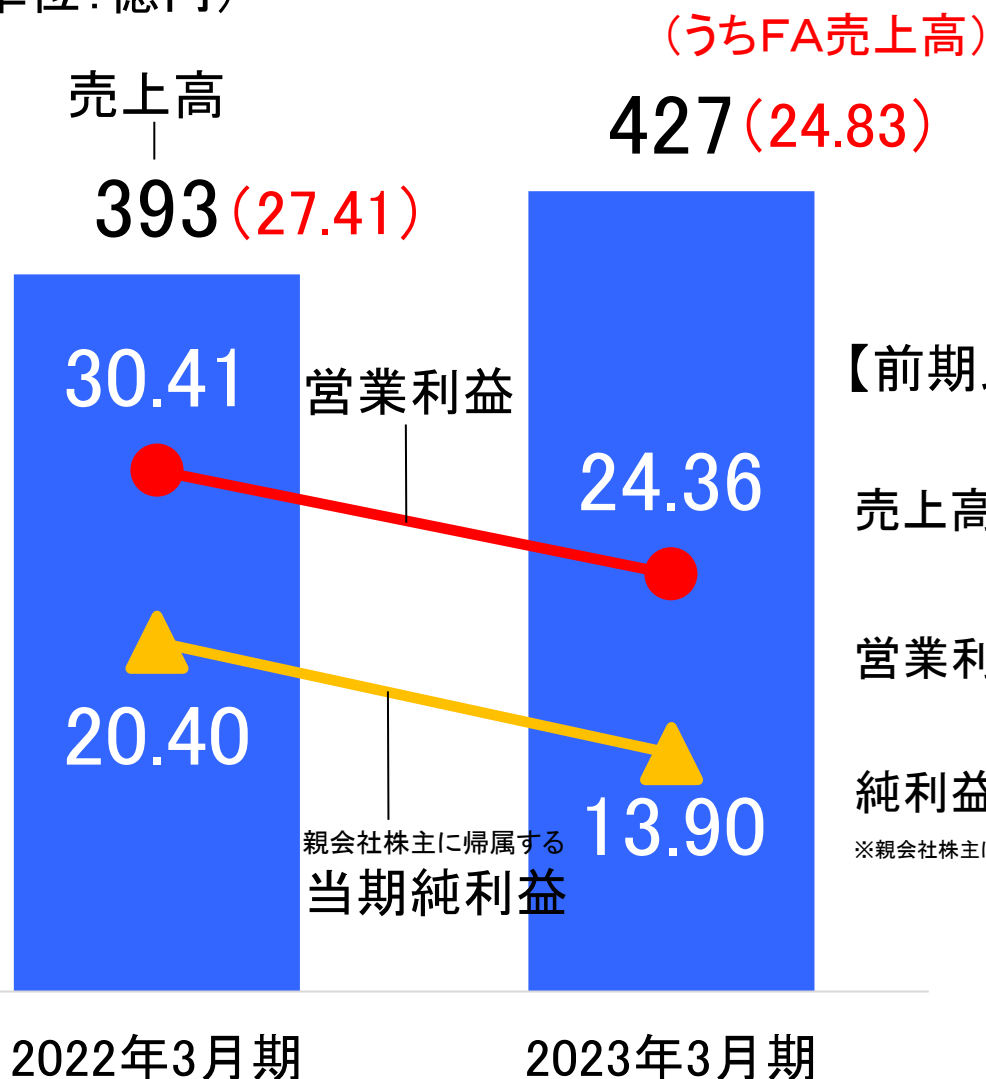
	2022年3月期	2023年3月期	前期差	前期比
売上高	39,358	42,799	3,440	108.7%
営業利益	7.7% 3,041	5.7% 2,436	▲605	80.1%
経常利益	7.6% 3,007	5.6% 2,394	▲613	79.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2% 2,040	3.2% 1,390	▲650	68.1%

為替レート(実績): 1人民元=19.38円/1USドル=130.77円



売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

売上高 34 億 40 百万円 増収

営業利益 6 億 5 百万円 減益

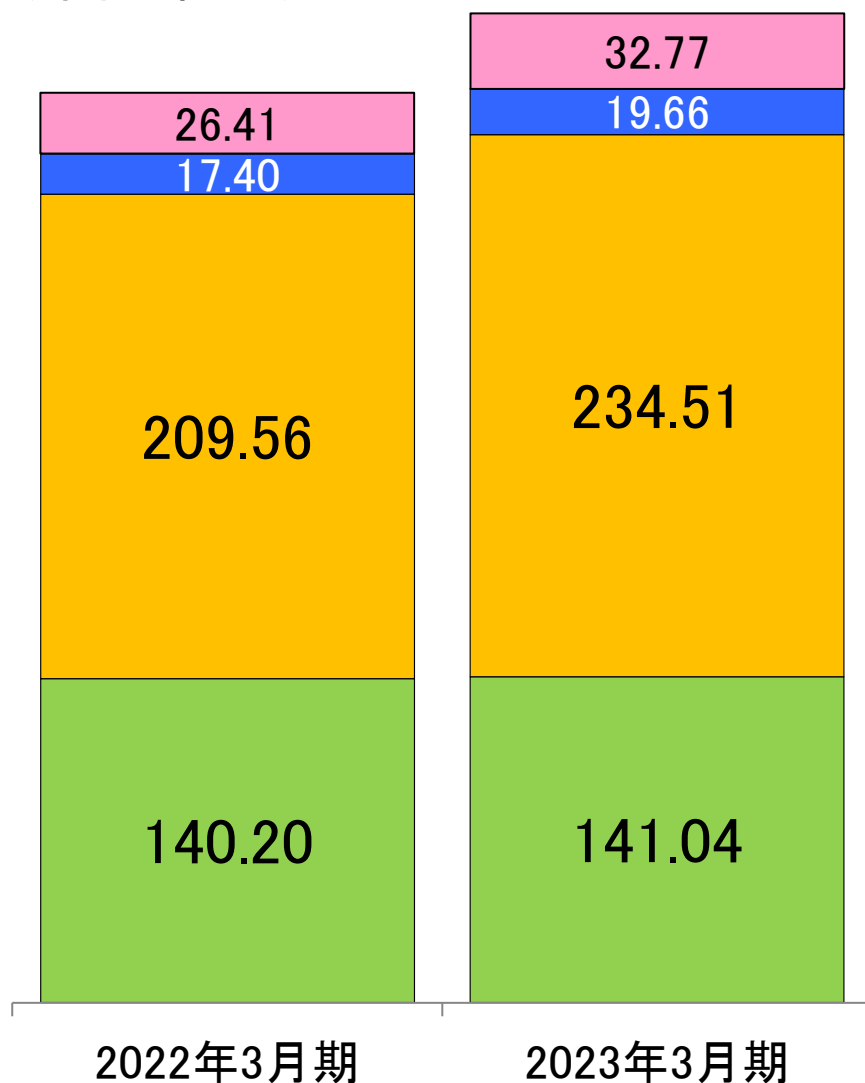
純利益 6 億 50 百万円 減益

※親会社株主に帰属する当期純利益



地域別売上高

(単位: 億円)



為替影響はあるが、全ての地域において増収を達成

欧米他 食品・医療関連が堅調を維持

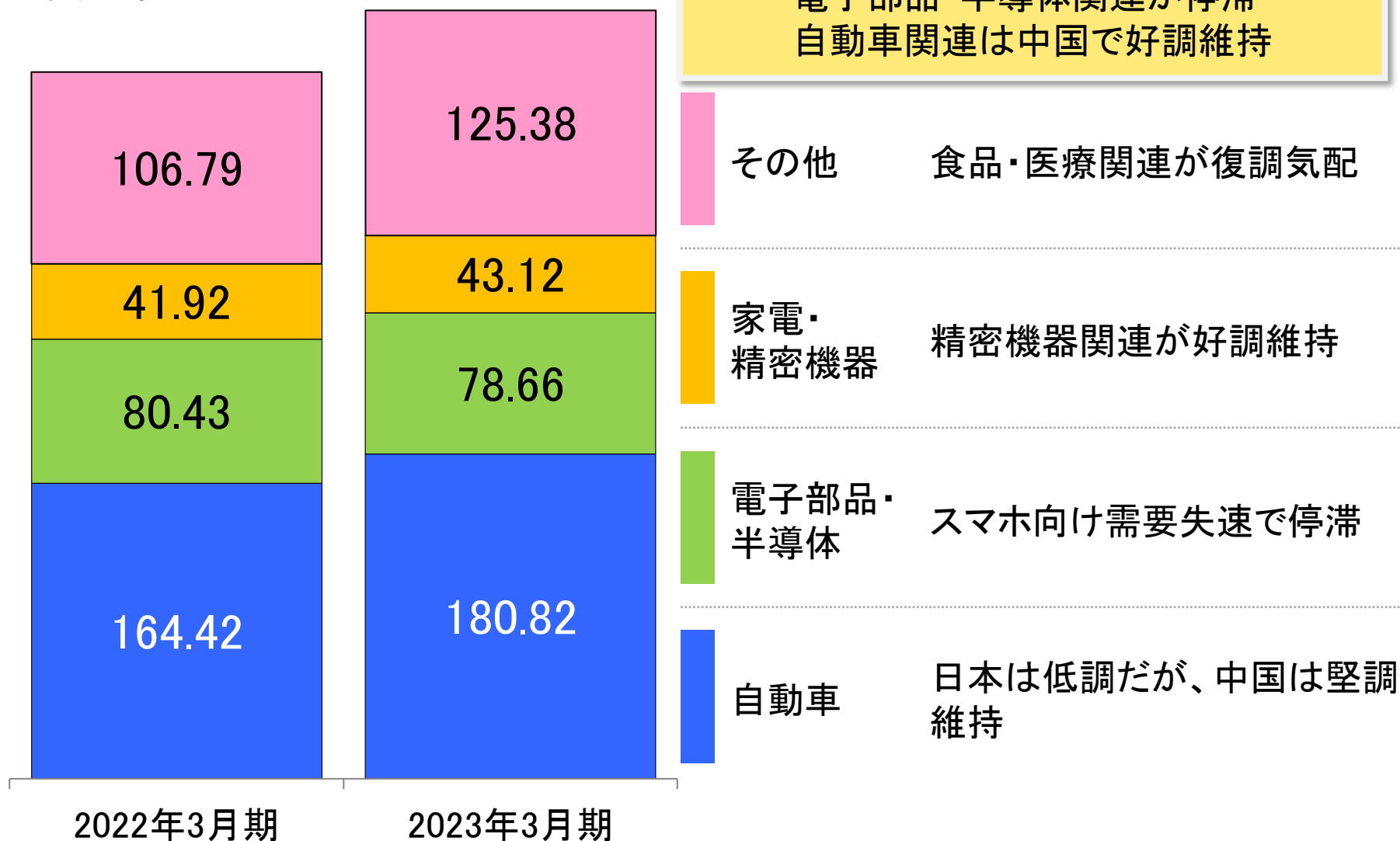
東南アジア 増収要素はシンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアが牽引

中国 自動車関連が堅調を維持

日本 精密機器関連、食品関連が自動車関連売上の低迷をカバー

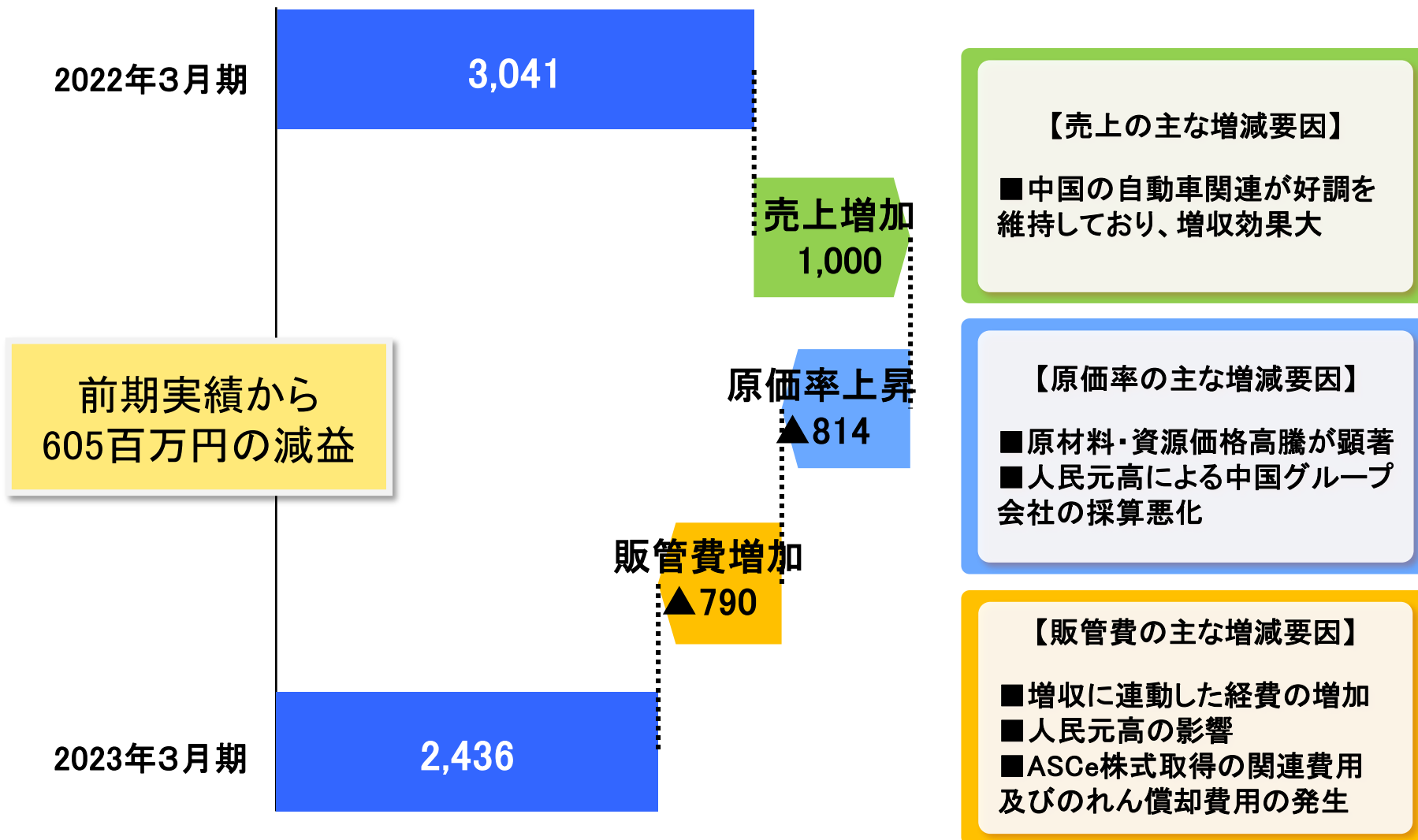
業種別売上高

(単位: 億円)



営業利益増減

(単位: 百万円)



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期末	比較増減
総資産	28,774	30,455	1,681
総負債	12,466	11,403	▲1,063
うち有利子負債	3,820	2,997	▲823
純資産	16,307	19,052	2,745
ネット資金	995	2,215	1,219

自己資本比率	56.5%	62.4%	5.9pt
自己資本利益率(ROE)	14.2%	7.9%	▲6.3pt
投下資本利益率(ROIC)	11.4%	8.1%	▲3.3pt

設備投資額(無形固定資産含む)	1,149	1,351	201
減価償却費(無形固定資産含む)	971	1,130	158



キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,941	2,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,099	▲1,546
フリーキャッシュ・フロー	1,841	1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,600	▲756
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	707	543
現金及び現金同等物の期末残高	4,669	5,212

「資本コストや株価を意識した経営」への対応状況について

グループ内に「ROIC経営」の思想を浸透させ、資本効率を意識した経営を本格化

指標	23.3期 (実績)	24.3期 (予想)	目標
自己資本比率	62.4%	62%	60%以上
ROE	7.9%	4.2%	10%以上
ROIC	8.1%	6.9%	10%以上
連結配当性向	33.4%	62.0%	30%以上
DOE	3.0%	3.0%	3%以上
WACC	7.2%	6～7%	—
EVAスプレッド	0.9%	▲0.1～ 0.9%	3～4% 以上

- 資本政策の見直し(2023年1月)
- 財務基盤の健全性を確保しながら、経営効率を高め、営業活動から得られた資金を、株主還元とさらなる成長投資へ適切に分配していくことで、企業価値の向上を目指す。
- 配当は、安定的・継続的かつ連結業績への連動性を意識した利益配分とすることを基本に、下記を指標とする。
連結配当性向30%以上
かつDOE3%以上
そのうえで、財政状態や資金需要等を総合的に勘案した上で決定する。
- 自己株式取得は、財政状態や株価等の市場環境の動向を踏まえ、必要に応じて機動的に実施する。

$$\text{DOE3\%} = \frac{\text{(配当総額) 465百万円}}{(14,378\text{百万円} + 16,381\text{百万円}) \div 2}$$

(前期と今期の株主資本平均値)



2024年3月期 通期連結業績予想 及びスタンダード市場の選択理由



2024年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2023年3月期 (実績)		2024年3月期 連結累計期間			
			通期予想 (2023/5/12公表)		前期差	前期比
売上高	42,799		42,000		▲ 799	98.1%
営業利益	5.7%	2,436	5.1%	2,150	▲ 286	88.2%
経常利益	5.6%	2,394	5.0%	2,100	▲ 294	87.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.2%	1,390	1.9%	800	▲ 590	57.5%
自己資本利益率 (ROE)	7.9%		4.2%		▲3.7pt	—
投下資本利益率 (ROIC)	8.1%		6.9%		▲1.2pt	—

2024年3月期
配当予想

20.30円(予定) = 中間 10.00円 + 期末 10.30円

為替レート(想定): 1人民元=19.00円/1USドル=136.00円

設備投資額(想定): 15億円 減価償却費(想定): 12億円



スタンダード市場への移行理由

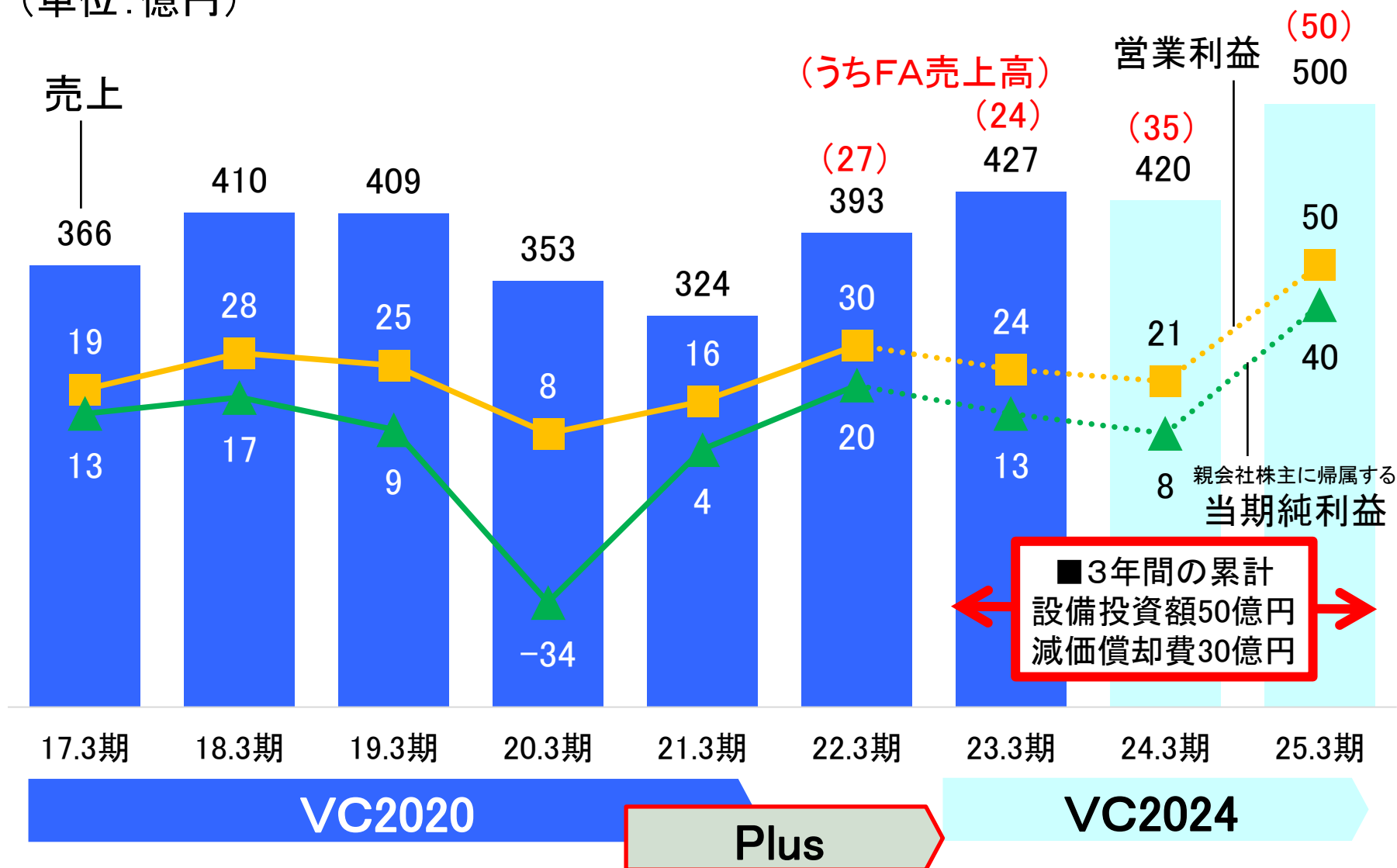
中期経営計画「VC2024」のブラッシュアップと、その実行に経営資源を集中する方針

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率(%)	1日平均 売買代金 (万円)
当社の 適合状況	2021年 6月末時点	4,757	144,460	87.8	65.3	4,088
	2023年 3月末時点	5,728	177,440	79.0	72.0	4,451
上場維持基準		800	20,000	100	35.0	2,000
計画期間		—	—	2025年 3月末	—	—

- 世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により、経営環境が厳しさを増している
- 中期経営計画「VC2024」については大幅な遅れを余儀なくされており、リカバリーに加えて、新・成長戦略も含めた計画のブラッシュアップが必要
- 「VC2024」のブラッシュアップ内容については、決定次第速やかに開示

ブラッシュアップ予定の中期経営計画「VC2024」

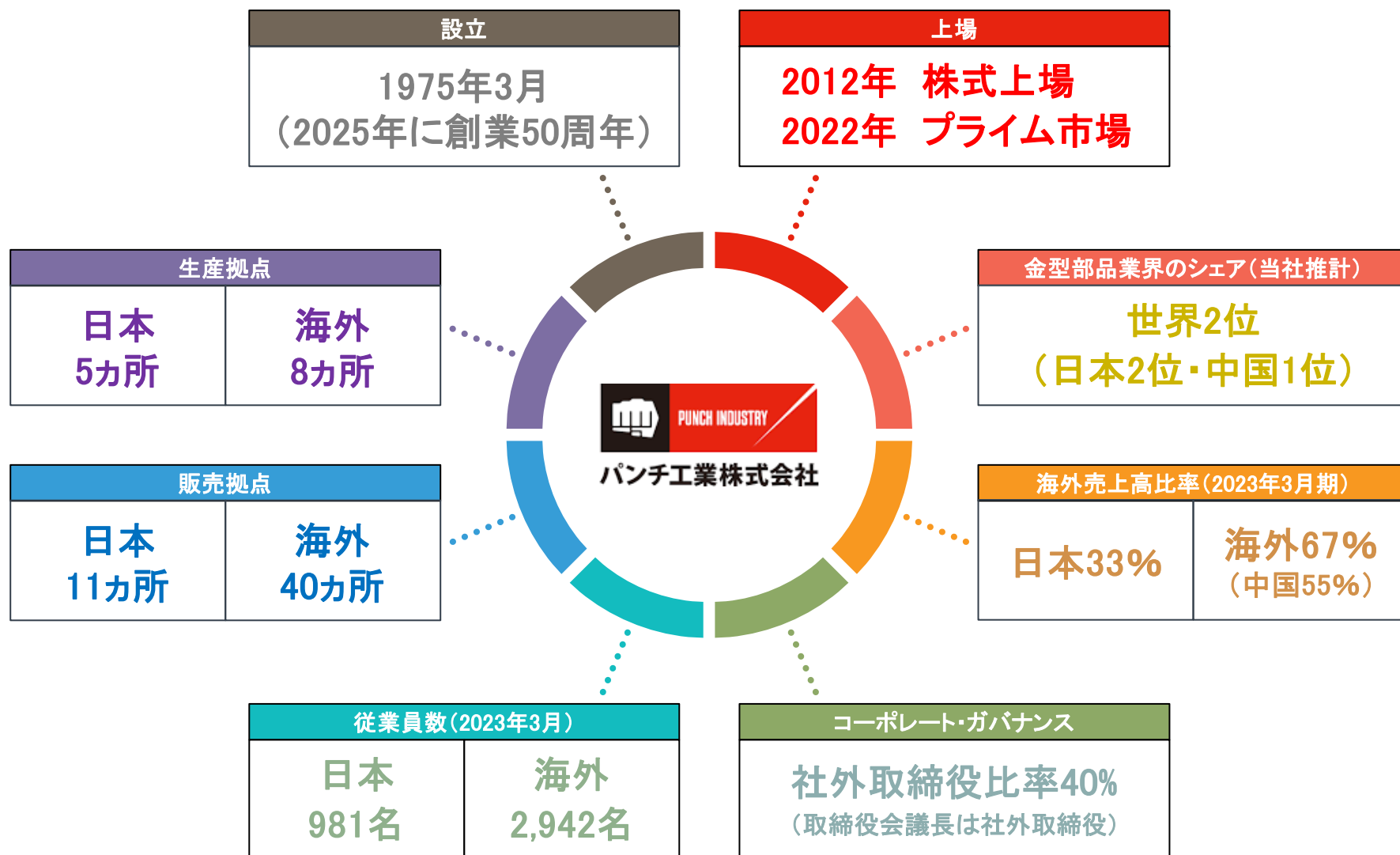
(単位: 億円)



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

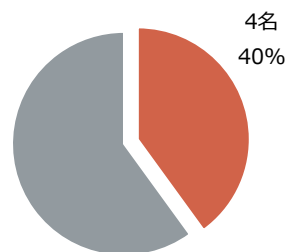
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

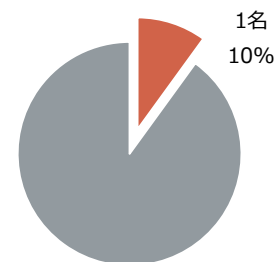
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	取締役	真田 保弘
	社外取締役 取締役会議議長	高辻 成彦
取締役 (監査等委員)	社外取締役	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

社外取締役比率



女性取締役比率

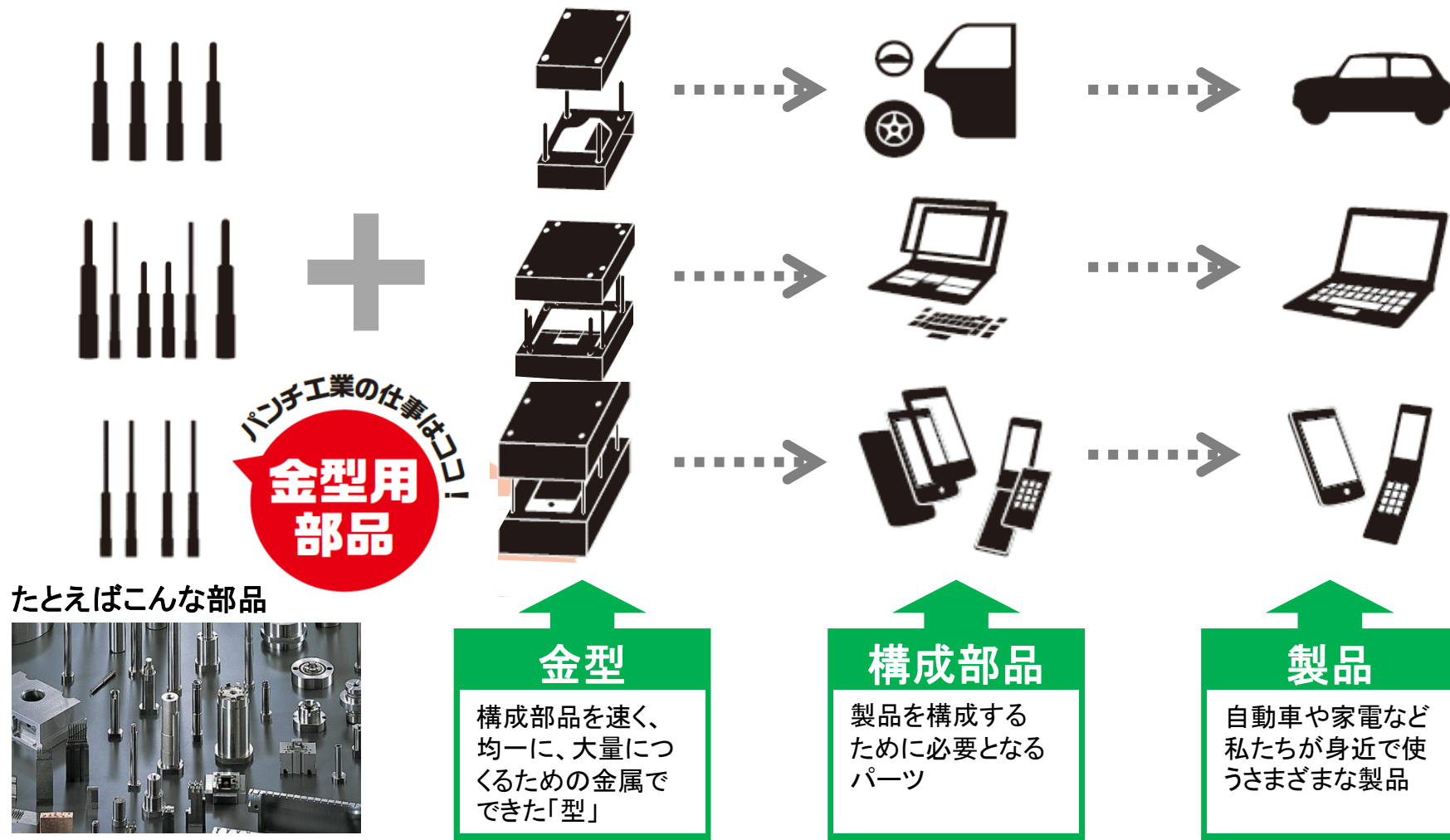


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

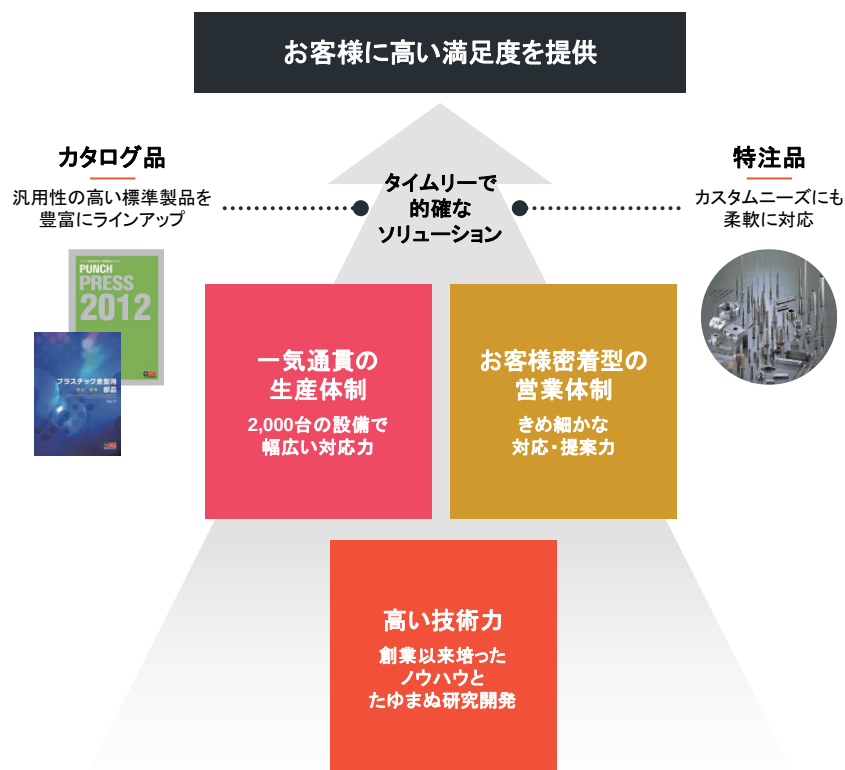
高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

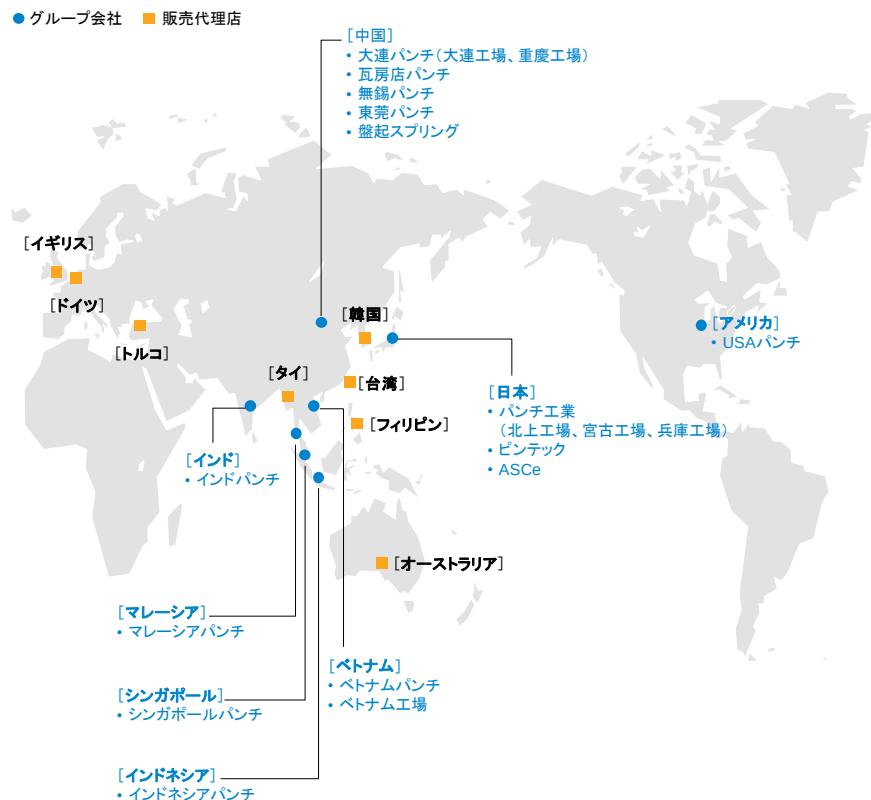
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

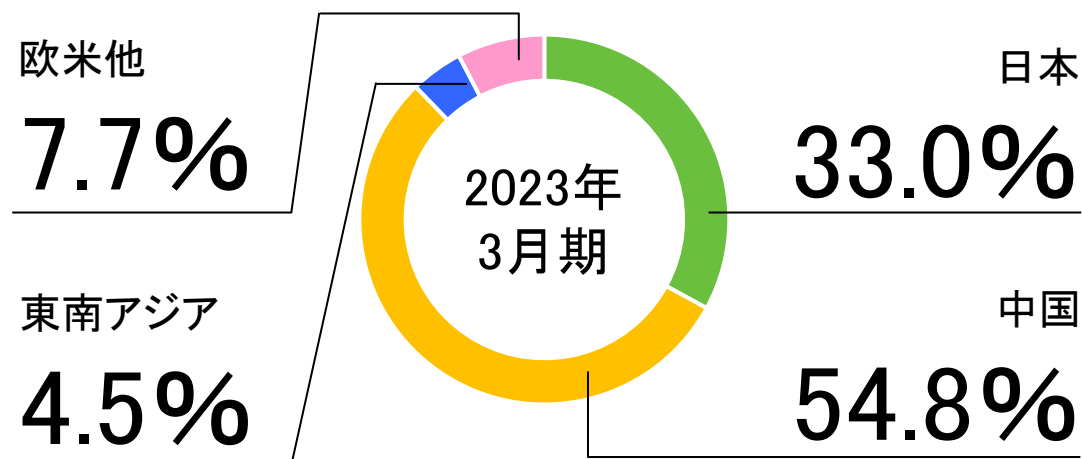


パンチグループのネットワーク

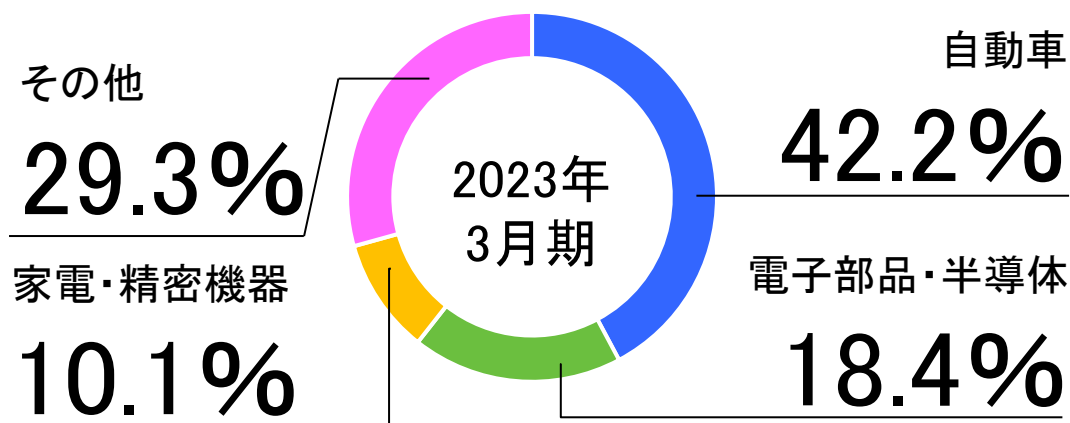


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

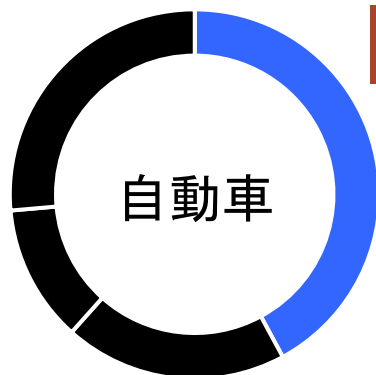


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



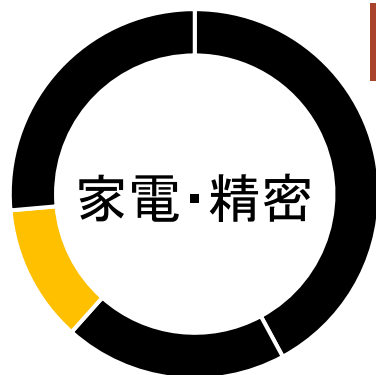
主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



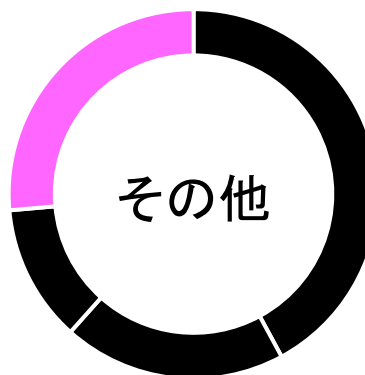
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー

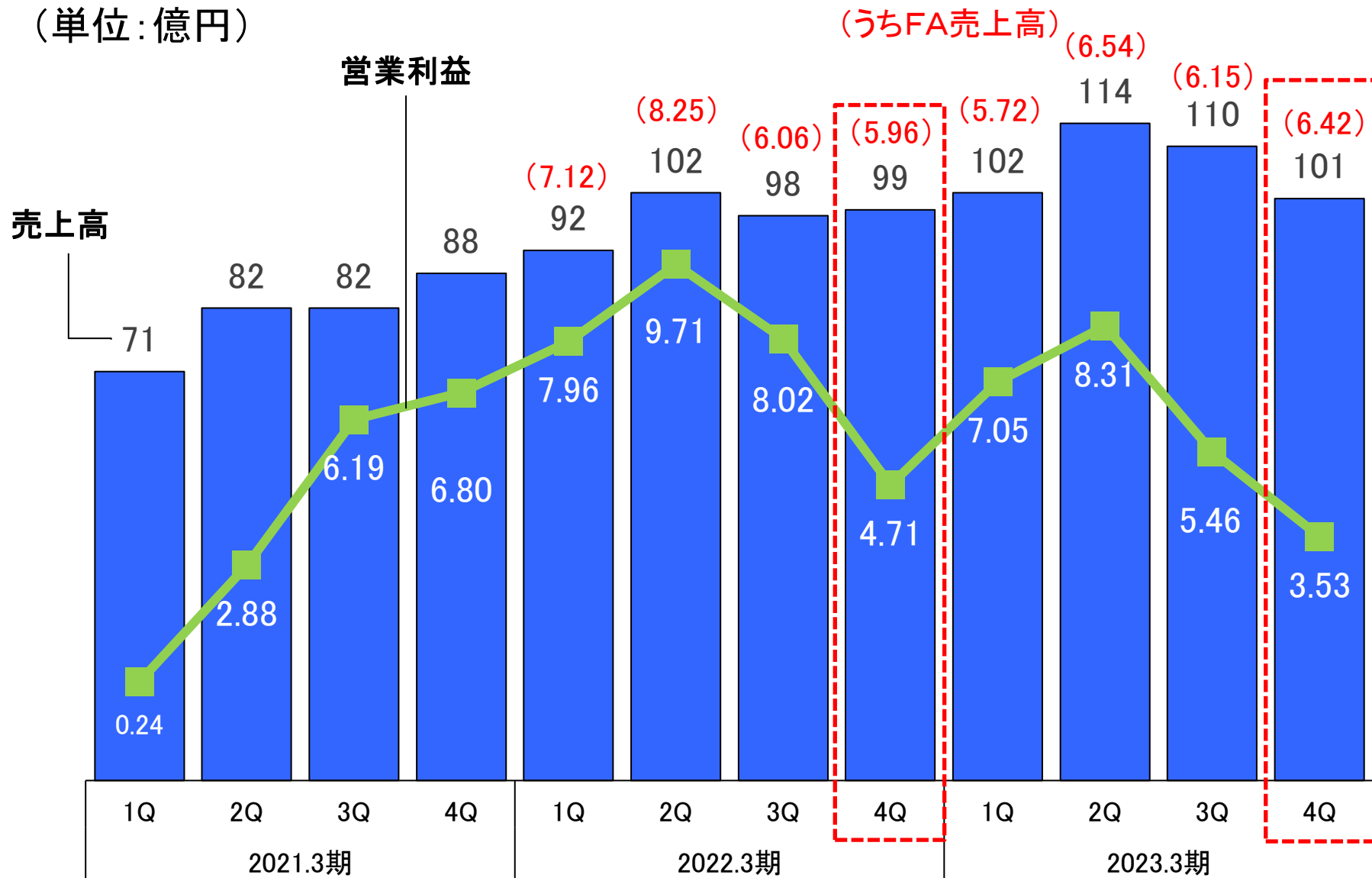


パンチグループ



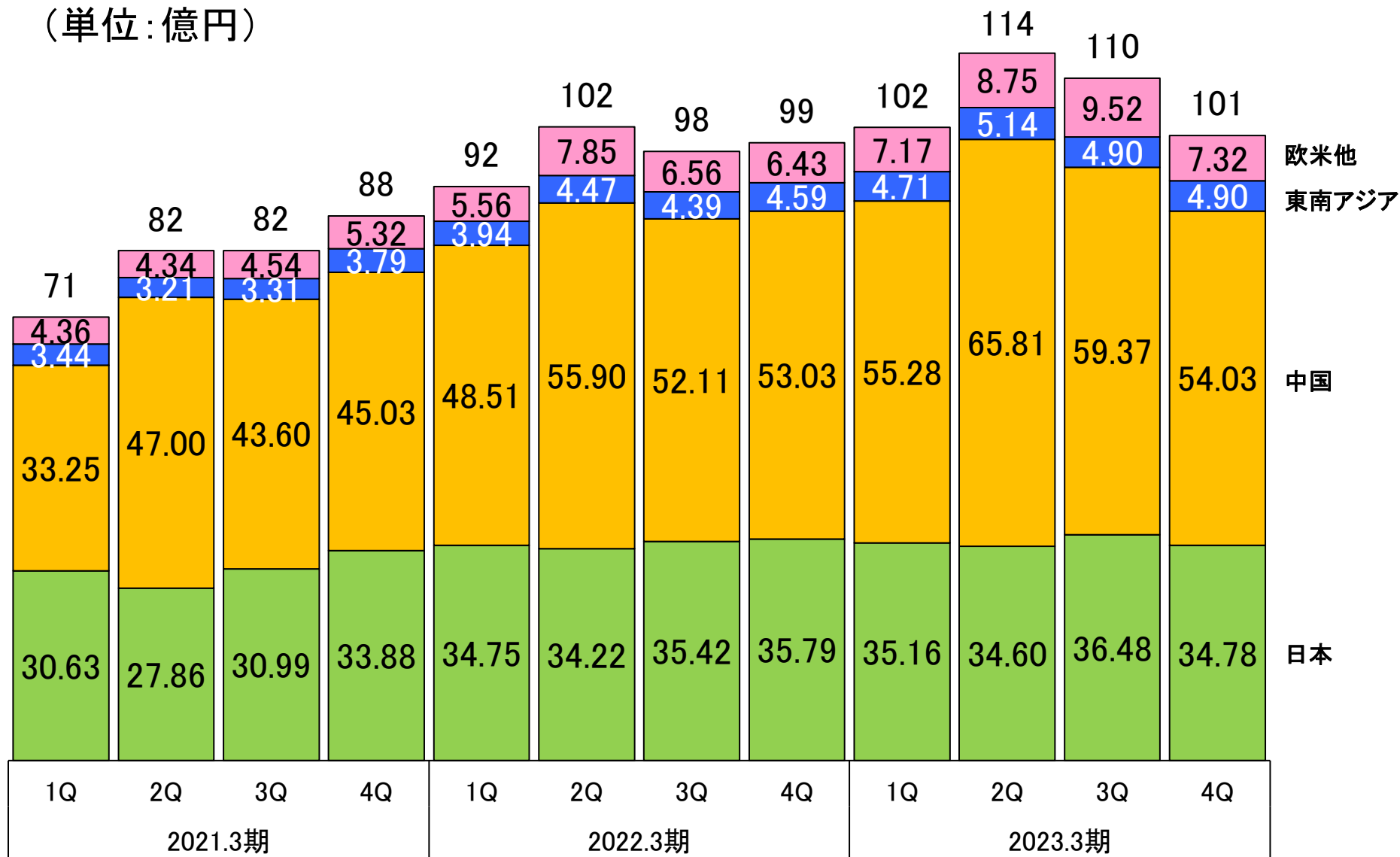
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



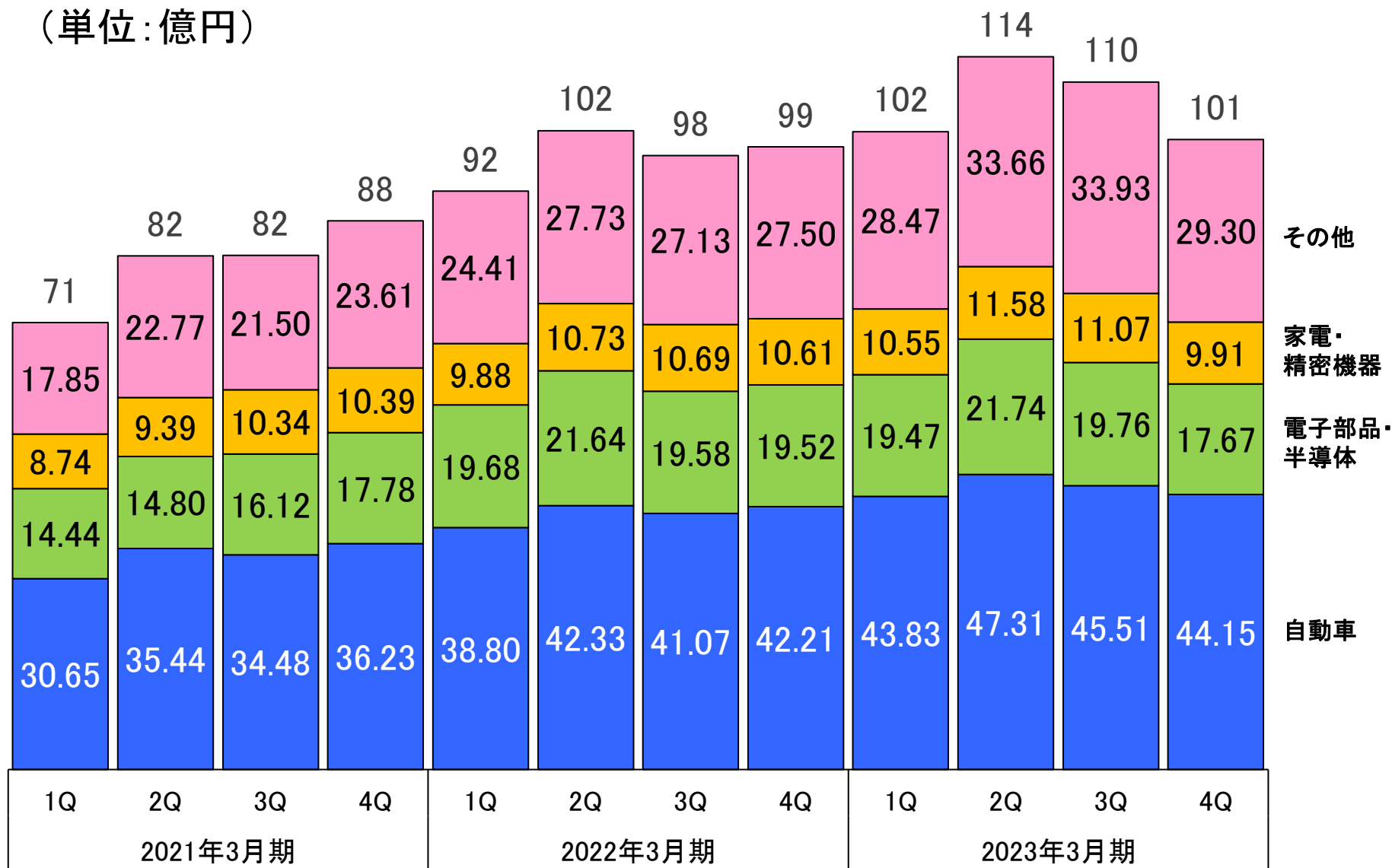
地域別売上高

(単位: 億円)



業種別売上高

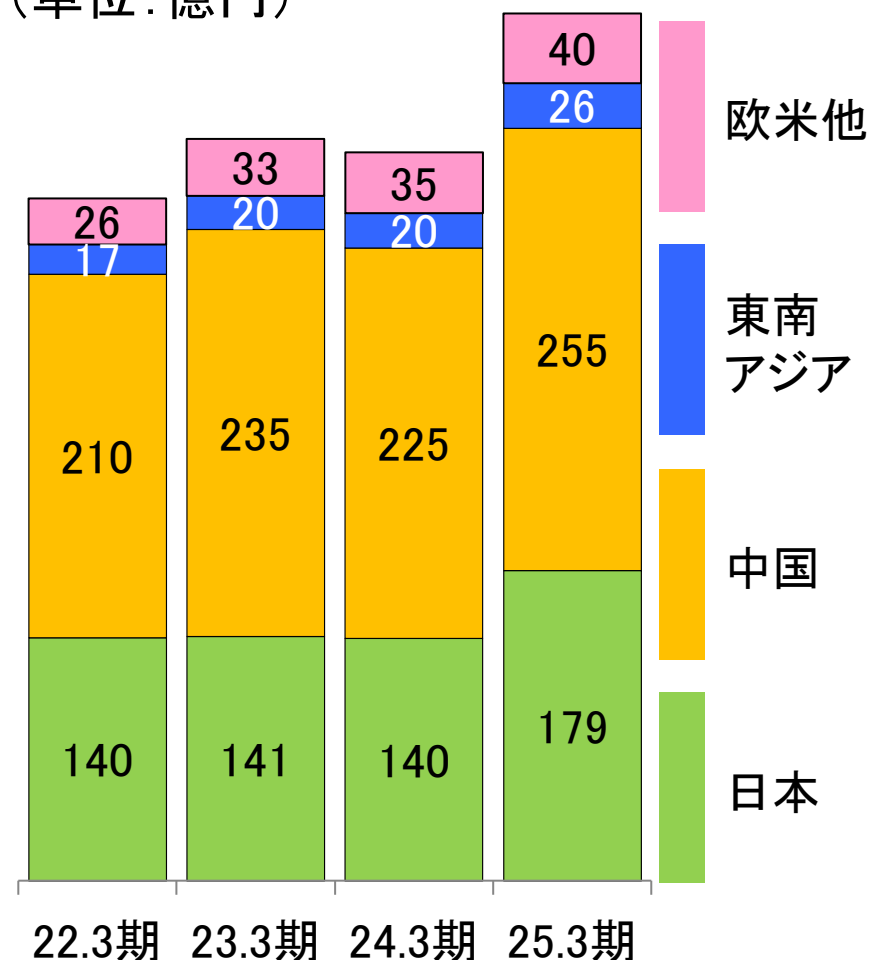
(単位: 億円)



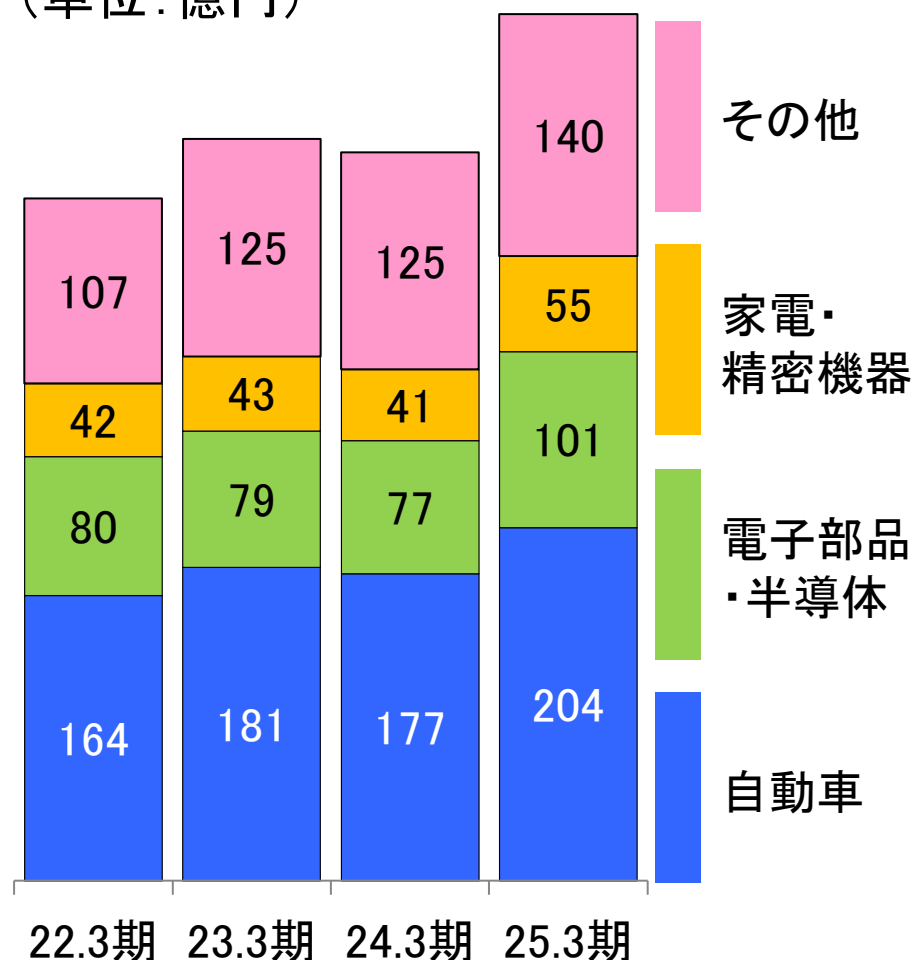
VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

（単位：億円）



（単位：億円）



重点経営課題の施策進捗確認表

施策項目	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	施策項目	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期
FA売上		32	35	50	日本内製売上		+13	+19	+25
実績(億円)	27	24			実績(増減%)	—	▲5		
Web受注率(日中)		41	43	48	生産効率		+16	+18	+22
実績(%)	39	34			実績(増減%)	—	+22		
東南アジア売上		20	20	26	ROIC		10 以上		
実績(億円)	17	20			実績(%)	11	8		
欧米他売上		30	35	40	総実労働時間削減		▲30	▲50	▲100
実績(億円)	26	33			実績(時間)	±0	▲26		
ベトナム工場売上		+20	+20	+35	有給休暇取得率		68	68	70
実績(増減%)	—	+25			実績(%)	67	68		
海外調達金額		+14	+33	+35	女性役職者比率		13	14	15
実績(増減%)	—	+5			実績(%)	11	13		
海外工場投資額		30(3年累計)			設備投資額(海外含む)		50(3年累計)		
実績(億円)	9	9			実績(億円)	11	13		

※「海外工場投資額」「設備投資額(海外工場投資を含む)」は3年間の累計値





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。